

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	ウィーン大学
-----	--------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	53,000 円	序盤で使いすぎたため自炊を始めたが後半はカフェに行っていたためかさんだ
図書費・学用品費	4,000 円	教科書代(23 ユーロ)
携帯・インターネット費	2,340 円	Esim 30 日 10 ギガ
現地通学費	8,500 円	(研修先まで 45 分) ウィーンーか月定期 51 ユーロ
教養娯楽費	180,000 円	ホテル、飛行機、列車。お土産
被服費	円	
雑費	円	
その他	2,300 円	例:洗濯代
合計	約 250,000 円	円安で多くかかった すべて概算額

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 成田で3万円分両替。24 年は千葉銀行が一番両替レートがよかった その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレカ。Levolut というクレカを使った。両替手数料と海外事務手数料がかからない点もよかった。銀行振り込みでチャージした分は現地でも月 25,000 引き出せたためよかった。VISA なので使いやすい。Applepay が使えないのが難点。2024/9 現在マスターカードからのチャージは手数料なし。実質的にはプリペイドカードに近いがカードでチャージできるため使いやすい。 使用しなかったが Sony bank wallet もおすすめ上とは違い。Applepay が使える。VISA ブランド。日本企業のソニーのカードなので気にする方はこちらの方がよいかも。カードについては自分でも少し調べるとよいかも。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Esim を用意した。10 ギガだと本気で節約しないと足りない(マップはこまめに閉じるなど)15 くらいがちょうどいいかも。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
虫対策: 虫が苦手な人は対策するべきで、街中では蜂がいるし部屋では網戸がないため虫が入ってくることもある。 箸: 自炊するなら食べるときに欲しい人は持ってくるのもあり。 日本食: カップ麺やみそ汁など簡単に作れるものを用意すると現地での食費節約になる。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
パスポートケースやスマホネックストラップを用意した。少なくともウィーン市内は安全だったのでネックストラップは外した。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
きちんと使えた。フランスの山の中では一部圏外になったが問題なかった。ネットがそのエリアに対応しているか事前に調べて旅行すべき。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
---------------	----------

☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2 人)
3)共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
虫対策をしよう。街並みがきれいで歴史を感じた。カフェがおいしい。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
授業ではリスニングとスピーキングが鍛えられた。 レベル分けテストが難しくおそらく文法的にはすでに習った範囲になるため聞き取りに集中できる。
2)課外プログラムについて
無料のものもあるのでチェックするべし。 歓迎会は飲み物いっぱい無料だったので、交流がてら行くことをお勧めする(飲みすぎや帰る時間に気をつけながら)。
3)現地での生活に関すること
外食は量が多く満足できるが、高いので自炊をすることを考えておくべき。 虫は多いので気になる人は対策するとよい。 ウィーンであれば基本クレカが使える(まれに 10 ユーロ以上じゃないと使えないことも)。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
授業内でグループワークが多かった(グループでの会話や問題を解くなど)。 歓迎会では多くの留学生も来るので海外の人と仲良くなれるチャンス。 ウィーン大学は夏休みのためうまくコネを見つけないと現地の人と交流するのは難しい。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
寮は海外の人と同じ部屋になることもあるので交流できる(自分の部屋があり共有スペースがある)。 寮の共有ベランダでお酒を飲んでいることもあるので、そこでも仲良くなれる。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
エスカレーターが右で速度が速い 町中にゴミ箱があり、路上喫煙している人が多くゴミ箱に捨てていく 電車の次の駅の表示 チップ 改札がなくたまにコントロールの人が来る

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

座学だけでは身につかない能力を得ることができた。留学後もドイツ語力を鍛えたいと思った。町を少し散歩するだけでも新鮮で、異文化の発見に満ちていた。たくさんの歴史的建造物があり世界史好きにはたまらない場所だった。ウィーン軍事史博物館は世界史好きにとってはいいところ(第一次世界大戦やナポレオン戦争などの展示がある)Sisi ticket は 50 ユーロでシェーンブルン宮殿とホーフブルク宮殿の中と家具博物館に入れてメジャーどころへいけるので買ってみるのもありかも?(シェーンブルンでは宮殿内以外は無料で入れます) 町にはたくさんのカフェが存在していて、皇帝御用達店舗などおいしいお店もたくさんあるのでコーヒーやケーキが好きな人は楽しめると思う。ちなみに私のおすすめのカフェは Sluka です。皇帝御用達や有名な店舗の中でも比較的安価に食べられておいしく、夏はアイスカフェラテもあるのでとてもよかったです。英語が通じるので海外だからと肩肘張らずに世界史が好きだから、カフェに行きたい、美術館に行きたいなどの理由でも気軽に挑戦してみることをお勧めします。実りある留学生活を送れるよう祈っています。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	ウィーン大学研修
-----	----------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	100000 円	
図書費・学用品費	3700 円	教科書代
携帯・インターネット費	3600 円	
現地通学費	8100 円	(研修先まで 30 分)1ヶ月ウィーン市内乗り放題定期
教養娯楽費	280000 円	観光代(交通費、入場料など)
被服費		
雑費	8000 円	洗濯、トイレトペーパーなど
その他	150000 円	例:お土産代
合計	約 550000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:行きに空港で3万円分両替しました。
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
ほとんど Apple Pay で支払いしました。お財布を出さなくて良いのが楽でした。また、みんなでご飯を食べにいくとき、現金で支払うことが多かったため、現金はある程度あった方が良かったと思います。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
前半は ahamo を使って、後半は amazon で購入した eSIM を使いました。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ラップ、紙コップは洗い物をしなくてよくなるので持っていって良かったです。日本食、洗濯用洗剤など

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例:研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
特に何も対策をしていませんでしたが、大丈夫でした。お財布、パスポート、携帯の3つはあるかを常に確認していました。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
寮と学校には Wi-Fi があるので、あまりギガを使いませんでした。接続も問題なかったです。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 4 人)

3) 共有部分

☒バス ☒トイレ ☒キッチン(☒自炊可 ☐自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

共有のリビングがあって、個人の部屋があるという感じでした。大体、明治の友達と同じだったので、一人になることはないと思います。2週間に1回、掃除が入っていたのでトイレやシャワーも綺麗に使うことができました。包丁やお皿、フライパンなどの道具は一通りありました。自炊が苦手で、パスタがバンパツかりになってしまったので、日本から持ってきたご飯がとても役に立ちました。食料を持っていくと楽です。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

先生の話を聞くだけではなく、ペアワークやゲームなど参加型の授業だったのがよかったです。授業の進むスピードが速すぎたところが辛かったです。

2)課外プログラムについて

無料と有料のプログラムがありました。他の留学生と話す機会がたくさんあってよかったです。

3)現地での生活に関すること

あまり日本での生活と変わらなかったですが、寮の最寄りの治安が少し悪かったと感じました。交通網が発達しているので、どこにでも行きやすかったです。週末の旅行は直前にチケットを取ったりしたので、とても高かったです。行きたいところが決まっているのであれば、事前に予約をしておけば費用をもっと抑えられたと思いました。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

ウェルカムパーティーやピクニックが初めにあり、そこで友達を作ることができました。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

ウェルカムパーティーで仲良くなった友達と、ランチやカフェに行きました。お菓子や日本のものをあげたら喜んでくれたのもっと持っていけばよかったと思いました。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

日曜日は大きい駅の中を除くほとんどのお店が休みで、閉店時間も早いことに驚きました。また、コンビニがなく、代わりにスーパーがたくさんありました。水よりも炭酸水がたくさん売っていました。普通の水と炭酸水の違いがわからなくて、初めの方は水探すのに苦労しました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私はドイツ語を今まで勉強したことがありませんでした。そんな私でもテストに合格することができましたので、ほとんどの人は難なく修了できると思います。挨拶、自己紹介、数字やアルファベットなど初歩的なことから教えてもらいました。しかし、授業のスピードが速すぎる、先生がドイツ語で説明するのでとても難しかったです。事前に、数字やアルファベットなど簡単なことだけでも勉強していけばよかったと後悔しました。もしドイツ語を勉強したことがない方がいたら、少しでも勉強していくことをおすすめします。そして、ドイツ語の勉強が心配でこのプログラムに参加するかを迷っていたら、そんな心配はいらないです、それ以上に学ぶことがたくさんあるのでぜひ参加してくださいと伝えたいです。また、ドイツ語の研修でも、他の留学生や先生と話すときは英語だったのでもっと英語を勉強しようというモチベーションが上がりました。ウィーンでの生活はすごく楽しくて、人生で一番充実した一ヶ月でした。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	ウィーン大学研修
-----	----------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	75000 円	自炊＋外食費
図書費・学用品費	7900 円	教科書 2 冊とノート(クラス変更をしたため教科書を 2 冊購入した)
携帯・インターネット費	2600 円	事前に購入した SIM カード代
現地通学費	9300 円	(研修先まで 30 分)1か月定期を購入
教養娯楽費	100000 円	旅行費、博物館などの施設入場料
被服費	3000 円	帽子を購入
雑費	30000 円	お土産など
その他	円	例:
合計	227800 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本で換金した。400 ユーロ(6 万円くらい)を持っていった。
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカード。VISA とマスターカードの 2 枚を用意した。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
12Gb のヨーロッパ SIM を日本で事前に購入。登下校の電車ですできるだけスマホを使わないようにしていた。寮と学校では Wi-Fi が使えたため、この大きさが十分だった。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
日用品ではサランラップや菜箸、タッパーが役立った。寮にエアコンがないため、暑いときに冷感リングや扇子が役立った。また水筒も持参して良かった。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり(問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
旅レジに登録して情報を得ていた。また外出する前に治安が悪い地区を調べるようにしていた。人通りの多い道を通るようにしていた。事件やトラブルには特に巻き込まれなかった。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
基本的には問題なかった。学校ではキャンパス内の位置によってつながりにくい場所もあった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
私の部屋では他に明治大学の学生が1人と他国からの留学生が2人の計4人で生活した。寝室は個室であった。挨拶をすることと夜間に騒音をたてないこと、私物の管理をしっかりとすることなど最低限のマナーを守ればトラブルなく過ごせると思う。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
オールドイツ語で授業が進むため、初めはかなり難しく感じた。最初の3日間のうちはクラス変更の申請ができたため、一つ下のレベルに変更した。先生がどんな質問にも答えてくれたので、かなりやりやすかった。クラスメイトも様々な国からの留学生なので、それぞれの国の話で盛り上がり、とても楽しかった。
2)課外プログラムについて
自由参加のピクニックと歌のクラスに参加した。ピクニックは近くに座った学生と会話ができた。歌のクラスはドイツ語で行われたため少し難しくて、個人的には微妙であった。
3)現地での生活に関すること
平日の1日のスケジュールとしては、授業は午前中のみだが宿題をしっかりと出してくれたり、小テストがあったりしたため、ほとんど毎日授業後に観光してから寮で勉強するといった風であった。寮の周辺は治安が少し悪かったため、できるだけ夜は歩かないもしくは複数人で行動するようにしていた。私は間違えてしまったのですが、電車の一か月定期はウィーンモバイルアプリでは18ユーロの低所得者向けチケットでなく51ユーロの方を購入してください。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
授業内でペアワークが多かったため、自然と友人ができた。休憩時間にベンチで話したりした。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
レストランやカフェと一緒に食事をした。お互いの国のお土産を交換した。また日の入りを見にハイキングにも行った。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
スーパーなどの店では店員さんに挨拶をする。カフェやレストランでのチップ。 電車やトラムではよく自転車やキックボードを持った人や犬を連れている人を見かけた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

今回の研修は私にとってかなり大きな挑戦であったと思います。私は1年生の第2外国語でドイツ語を履修し、そこでドイツ語を続けてみたいと思い今回の研修に参加しました。英語すら不安が残る中、ドイツ語を学び実際に使うというのは最初のうちは非常に高いハードルのように思えました。実際に現地であまり話すことができず失敗してしまったことも多くありました。しかし、学校では間違えても先生やクラスメイトが教えてくれて、大切なのは正解することではなく積極的に学び吸収しようという姿勢なのだと実感しました。これから秋学期が始まりますが、どの講義に対してもこの姿勢で取り組んでいきたいと思っています。またドイツ語の勉強はこれからも継続していきたいと考えています。 反省として観光のスケジュールをもう少し計画立てるべきだったと考えました。私は週末に周辺国やオーストリア国内の別都市へ旅行に出ていたため、ウィーン市内を回るのもかなりきついスケジュールでした。また週末には宿題が平日よりも多めに出されるため大変でした。食料品や日用品も期間内に使いきれないように買い物することが重要です。カフェの朝食がとてもおいしいのでおすすめです。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	ウィーン大学ドイツ語学研修
-----	---------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 150,000 円	調味料、チップ含む
図書費・学用品費	約 4,000 円	
携帯・インターネット費	8,000 円	
現地通学費	約 8,500 円	(研修先まで 30 分)※1 か月定期を51€で購入
教養娯楽費	約 270,000 円	国内外旅行、ウィーン市内観光
被服費	0 円	
雑費	5,000※ 円	※はがき4枚と M サイズの EMS がありましたが、値段が不明のため便宜上 5,000 円としました。
その他	約 200,000 円	例:お土産
合計	約 645,500 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカードはほとんどの店に対応しているので、小さい買い物や食事ならそれで済ませることが多かったですが、自分はたまたま現金を多く持っていたので、現金を優先的に使いました。チップはクレジットカードでも払える場合が多かったですが、現金の方が楽でした。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
eSIM の Holafly のヨーロッパ28日無制限を購入しました。基本的に全ての SNS 含めたアプリは利用できます。購入手続きも簡単です。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
スリッパ、菜箸、スポンジ、食器用洗剤、ショルダーバッグ、少し多めのビニール袋、ティッシュ、日本のお土産(ポストカード、お菓子、調味料など)、サランラップ、上着、水筒、キャップ、洗濯洗剤、柔軟剤、エコバッグ、変圧器及び変換プラグ付き延長コード。個人的に辞書とパソコンとハンディファンは必要ないと感じました。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例:研修の相談窓口、現地の友人等)
☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
たびたびの情報の確認をしました。ショルダーバッグにパスポートと財布を入れて常に携帯し、それと併せてスマホなどの貴重品を頻繁にあるかどうかの確認をしました。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
大学や寮にある Wi-Fi で十分通信できました。ヤフージャパンなど一部のサイトが使えないことがありました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
---------------	----------

☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 3 人)
3)共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
連絡先の交換は大抵 Instagram か WhatsApp でした。アジア系の人にはたまに LINE を持っていました。インストールしておくといひです。あと、長文ですが、丁寧にまとめたので下の「現地での生活に関すること」と「留学体験記」を中心に読んでくだされば基本情報報は完璧かと思ひます。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
全体を通してとても良かったと思ひます。
2)課外プログラムについて
ウェルカムパーティーとピクニックに参加しました。ウェルカムパーティーは最初の 1 時間がハッピーアワーで安く飲める上に一杯無料のチケットもありました。ピクニックは教科書を買った本屋あたりに集合してキャンパス内でみんなとごはんやおやつを食べるものでした。どちらもとても楽しくクラスの隔たりを越えて友達ができました。
3)現地での生活に関すること
CBD ショップがあり、吸っているような人もたまに見かけ、話しかけられもしましたが、特に危害はなかったです。寮からの最寄り駅は Gumpendorferstraße と Längenfeldstraße の2つでしたが、後者の駅までの道の方が比較的治安は良さそうに感じました。また、路上喫煙が合法なようで至るところにゴミ箱と灰皿がありました。スーパーは 20:00 で大抵は閉まり、日曜日ややっていないところもあったようです。夜遅く空いているスーパーだとウィーン西駅(Westbahnhof)に 24:00 までやっている U3マーケットがありました。薬局は 18:00 に大抵は閉まりますが、使うことはなかったです。観光地は学校と寮の間ぐらひに多くが集中しているので、帰り際に行くといひです。寮の近くには多くのスーパーやレストラン、薬局、ケバブ屋がありました。もしも日本にはがきを出したいと思ったり、お土産を買いすぎたから先に送っておきたいなどと思ったりしたならば、現地でごく見かける Post AG の有人のところへ出すと良いです。無人もあるので、確実なのは有人のところを選びましょう。お昼休憩があるところがあるので、有人かどうか併せて調べておきましょう。荷物は予め専用の段ボールのボックスをそこで買っておくことをお勧めします。さらに預ける前に税関のフォームを記入しなければいけません。このサイトからサイトを日本語訳や英訳などして読み解きました。いざ荷物を預けたとなった時には一応 EMS でお願ひしますと言っておくといひでしょう。また、入り口近くにある整理券発行機で Post AG を選択して整理券を発行しましょう。荷物もですが、はがきも念のため送り先の日本語の住所も書いておくとう安心です。次にチップについて書きます。チップは正直現金会計の方が渡しやすくと感じましたが、クレジットカードでも可能です。現金ならキリのいい数字でだいたい5〜10%分払うようにしていました。多く渡して Stimmt so. と言えは伝わります。もしくは、ドイツ語圏外の国に行くならば、例えば18€の会計を20€で支払いたいなら、Please make it 20 euro. と言えはいいです。クレジットカードなら、5、10、15%から選んでくださいという画面が出てきて選んで押すパターンか、いくら払いますかと店員に聞かれて、数字を答えて決めて払う2パターンです。次にウィーン全体の治安や差別についてですが、これらはどちらも良好です。どちらも心配しすぎる必要はありません。とはいひ、心の隅に色々な可能性を考えておくといひと思ひます。次に服装について書きます。気温的には日中は気温・湿度が日本より気持ち低めでも日差しが強いので暑く感じます。サングラスがあってもいいかもしれません。しかし、朝晩は少し肌寒く感じます。また、雨はあまり降りませんが、たまに急に土砂降りになるなんてこともあるので、天気予報を見て、靴や折りたたみ傘の携帯について考える必要があります。また、少し背伸びをしていい場所に行こうとするとドレスコードがある場合があるので、防寒にもなるジャケットがあるとフォーマルに見えてより良いでしょう。例えば学友協会でのコンサートではドレスコードがあるようです。ちなみに、ウィーンでは Volksoper などを含め、ウィーンフィルのコンサートやオペラなどのウィーンでの演奏は8月中は多くがお休みです。ウィーンフィルはこの時期ザルツブルクに音楽祭のため出張しているのです。しかし、小さい室内音楽コンサートなどはあります。当日券を買おうとお得には入れることがあります。ホフブルク王宮の前とかシェーンブルン宮殿の正門あたりにお昼過ぎに行けばチケット売り場があるかもしれません。おススメは、シュテファン大聖堂での巨大パイプオルガンのコンサートです。有名なクラシック音楽をアレンジした曲が聞けるかもしれません。私のときは、新世界より2楽章やモルダウが有名な曲として演奏されていました。大きい聖堂にもかかわらず、その音色が体に響き染み渡る感覚を是非味わってみてほしいです。話がそれましたが、常に携帯すべきものは、パスポートと財布とスマホです。これらをウェストバッグに入れておくとう盗まれず両手が空くのでお勧めです。次にご飯についてですが、日本食が恋しくなったら寿司やラーメンはあるので探していくと良いでしょう。または Karlsplatz に日本屋(Nipponya)で日本の食材や調味料を買って料理するのも良いでしょう。割高ですが、持っていなかったり足りなかったりして欲しければ行ってみると良いでしょう。お昼ごはんに向いている安めのものだと、BILLA や SPAR などのスーパーでサンドイッチやピザを買ったり、ケバブ屋で何か小さめのものを注文したりすると4€前後で済みます。朝ごはんなら、牛乳とジュース(バナナが個人的におススメ)とコーンフレークを買っておけば、朝それらを混ぜて入れるだけで美味しく早く食べられます。夜ご飯を安く済ませるなら、自炊しかないでしょう。おススメはパスタ、ラタトゥイユ、カレーブルストが簡単でおススメです。ちなみにパスタのソースはスーパーで買えますし、ラタトゥイユなら多めに作ってパンと一緒に食べて残りはラップをかけて作り置きに回せます。食材やその他の日用品含め、ルームメイトや日本人の友達と折半すると良いと思ひます。次に両替についてです。近隣諸国だとチェコやハンガリー、スイス、ルーマニア、ポーランドなどでは独自の通貨を利用しています。しかし、大抵はクレジットカードが使えるので心配なくて大丈夫です。とはいひ、万が一の場合にはキャッシングできる ATM を探すか、予め会計の前に VISA カードは使えますか? などカードの種類も込みで聞いておくとう安心です。次に交通についてです。定期券はこのサイトから購入できます。予めオンラインで買っておくと楽です。切符を買ったり打刻したりする手間がかからないからです。たまに改札にコントロールという警官のようなチケットを確認する人がいるので、素早く見せられるようにオンラインチケットの場合、その

PDF をスクリーンショットしたものをお気に入り登録などしておくといいいです。このチケットは、トラム、バス、地下鉄(U-bahn)に対応しています。間違えても S-bahn や CAT には乗らないでください。これらは日本でいう特急なので、別途乗車券が必要になります。後者の CAT は空港まで直通の列車で、Landstraße で降りてショッピングモールのような駅併設の建物に入って、ずっと奥に行けばチケット売り場が見つかります。次に観光のチケットですが、買い方は主に3種類あります。オンラインで Get Your Guide などの様々なチケットを予約できるサイトを使うのと、その観光地の公式サイトから買うのと、現地で買うものです。1つ目のものは、基本料金が少し高いものもありますが、セット割りなどがあります。2つ目のものは、最安値の可能性があります。3つ目のものは、買えない可能性(=売り切れ)があったり、学生割引をするときにパスポートや学生証が必要だったり、チケットを買うための列に並んだりする必要があるため、あまりお勧めしません。とはいえ、何時にそこに着けるかわからないときに便利ではあります。サイトで購入すると、時間で入場が区切られているものがあるためです。4つ目にシシチケットというものがありますが、これはスペイン乗馬学校のあたりで買えるチケットです。オンラインでも買えますが、これはお得です。これに含まれている王家家具博物館は名前こそ個人的には惹かれませんでした、とても良かったです。ここは Googlemap が必須な場所にあります。個人的におすすめの観光地を5つ紹介します。1つ目は Haus des Meeres という水族館のようなところです。あえて内容は言いません。2つ目は、シェーンブルン宮殿です。徒歩でも行ける距離にあるので、散歩で行くのでも良いでしょう。個人的には、ここを隈なく回るには3日は必要ですし、それだけの魅力があります。グロリエッタというカフェや世界最古の動物園などがあり、運が良ければ野生のキツネやリスを見ることができます。そして3つ目は美術史美術館です。いくつもの有名な絵画があり、中には世界一美しいと称されるカフェもあります。4つ目はベルヴェデーレ宮殿上宮です。ここにはかの有名なクリムトの作品やナポレオンの絵画が展示されています。最後に5つ目はフンデルトヴァッサーハウスです。感想は、とにかくカラフルできれいな家、といった感じです。近くのカフェでお土産を買ってコーヒーを飲みました。ここで紹介した宮殿2つは事前予約必須です。当日券は、その日の早くに売り切れます。次に、おまけで私がやり残したことを書きます。1つ目は、もっと色々なカフェや博物館、美術館に行きたかったということです。ウィーンには隠れたカフェの名店と様々な種類のコーヒー、そして様々な美しい美術館、博物館があります。2つ目はウィーンの森を散歩することです。3つ目はドナウ川(Donauinsel)で泳ぐことです。4つ目はプラーター公園のアトラクションに乗ることです。2つ目以降は誰かしら友達と行くことより楽しめるでしょう。最後に住民登録についてです。ウィーンに着いたらなるべく早めに、かつ午前中に役所に行くことをお勧めします。午後だと予約する必要があり、貴重な観光の時間を削ることになるからです。朝なので、学校前ということになりますが、8:00に役所が開き、そのタイミングに入ればほとんど並ばずに手続きできます。記入した用紙とパスポートが必須でお金はかかりませんでした。登録用紙は入居の時に寮の管理人からもらえます。Bezirksamt が最寄りの役所でした。着いたら整理券を発行します。Meldeservice などと書かれたボタンを選択すれば発行できます。手続きは勝手にあちらが内容を登録してくれるので身構える必要はありません。そして大事なものは、帰国に際して帰国の3日ほど前からする必要のある退居の手続きです。この時必要になる紙は役所に置いてあるらしいので、住民登録のときにそれをもって帰ると良いでしょう。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

参加したプログラム内では、現地の学生との交流はなかったです。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

クラスメイトと放課後に遊んだり、寮で日本食パーティーを開いたりして同じ寮でできた友達含め何人か友達を呼んで交流しました。相部屋の人は生活リズムが違うのなかなか会うことがなく、ほとんど話すことがないまま終わりました。クラスメイトとはその人の寮に行って卓球場で卓球をしたりカフェやヴォーティフ教会の前の芝生でご飯を食ったり、nextbike というアプリで簡単にレンタルできる自転車で一緒にサイクリングしたり、ウェルカムパーティーで知り合った人とはシェーンブルンなどの観光地を巡ったり、寮のテラスにいた人とは話しかけて友達になって喋ったりしました。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

LGBT に対する偏見が少ないように感じました。クラスメイトにもそういう人がいましたが、単にパートナーの一つの形だという認識のようでした。また、「行けたら行く」は来てくれることが多く、話が盛り上がっているときでも帰らないといけなくなったらすんなり帰るなど、言葉のままの意味で伝えたり、自分の意思を伝えられたりする人が多いと感じました。また、ヴェネツィアというゴンドラのように観光客のために現存しているようなものとして馬車がありましたが、そうではなく定期的に鳴る鐘の音がとても印象的でした。教会によって音色が異なり、一番感動したのはザルツブルクのモーツァルト広場で20:00に聞いた、重く大きな音で街と人の体に響き渡る鐘でした。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

この留学プログラムでのドイツ語の授業は基本的にドイツ語で行われて、それによって何度か指示などが聞き取れないことがありました。周りの生徒は若い人ばかりではありませんでしたが、隣の席の人に指示を英語で教えてもらい、そのお返しに文法を教えてあげることによって仲を深められました。日本では文法をしっかりと固めているので、文法について新たに学ぶことは少なかったのですが、授業は会話で使えるような実践的な教え方だったので、話す力は身につきます。クラスメイトに日本のお土産を渡したときはとても喜んでくれました。そこからクラスメイトとごはんを食べたりピクニックやサイクリング、卓球、日本食パーティーをしたりすることもありました。日本食パーティーには寮でできた友達も誘い、日本から持ち込んだ調味料などを使って作りました。共有部のキッチンには冷蔵庫、電子レンジ、コンロ、オーブンがありました。フライパンはテフロン加工ではないため、焦げ付きやすく洗っても落ちづらかったです。食器類は自室にセットで置いてあり、それを使って料理しました。テラスで食べると気持ち良かったです。課外プログラムではピクニックに参加しました。そこでは他のクラスの人たちと交流できるので、友達の輪がより広がりました。ウィーン市内の観光は平日の午後にしました。たくさん回りたい人は事前に営業時間や場所、チケットについて調べておくことで効率良く回れます。効率を求めなければ土日に観光してもいいと思います。私は土日に毎回国外やオーストリアの別の都市を訪れていたのが平日に観光するしかありませんでした。今回はブダペスト、グラーツ、ザルツブルク、ミュンヘン、チューリッヒ、ブラチスラバ、ローマ、バチカン市国、ヴェネツィアの 7 か国 9 都市を回りました。飛行機や電車、ホテル、観光地のチケットはほとんど早めから事前に予約していました。ものによっては予約した e チケットをコピーしておく必要があるものもあるので、ウィーン西駅(Westbahnhof)にあるコピーショップでコピーすることもありました。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	ウィーン大学 2024 年夏季
-----	-----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	70000 円	外食+自炊
図書費・学用品費	3000 円	教科書
携帯・インターネット費	3000 円	Ubigi の eSIM
現地通学費	8000 円	(研修先まで 30 分)ウィーンモバイルアプリで 31 日チケットを購入しました。
教養娯楽費	20000 円	美術館、図書館などの入場料、放課後プログラム
被服費	9000 円	服を 1 着、大学のスウェットを 1 着
雑費	1800 円	洗濯代(4 回)
その他	155200 円	例:お土産+ウィーン以外の交通費+その他娯楽
合計	270000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本で 10 万円おろして成田空港で 3 万円、現地で 7 万円換金しました その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
主にクレジットカードを使い、小さい金額の時や現金のみの時は換金したユーロを使用しました
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Ubigi という e SIM を使いました。他の外国にもいく予定があったのでヨーロッパ(複数カ国)の 30 日 10GB を購入し、最終日に足りなくなったため 1 日 250MB を買い足しました。Ubigi は簡単に買い足し、使用状況が見られるので使いやすかったです。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
水筒は持っていけばよかったです。ペットボトルを買ったりしていましたが、水道の水が飲めたり街に水汲み場があるのでそこで水を入れて持っていく方が節約になっていいと思います。パソコン、iPad は必要ないです。 また、多くの場所は明治大学の学生証を出すと学生料金で入れることが多かったですが国際学生証を出さないと学生料金にならないところもあったので国際学生証を発行しておいても良いと思います。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
オーストリア周辺はとても治安がよく特に危ない思いはしていませんが、バッグのチャックをしめる、持っていく財布の中身を少なめにするなどの簡単なことはやって損はないです。また私たちの寮の最寄りが少し治安が悪かったので夜に一人で歩くことはしない方がいいと思います。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
寮と大学では Wi-Fi が繋がり、その他のために e SIM を使いました。スロバキアに行った時だけ繋がらなくなってしまったので、どこでその SIM が使えるか確認した方がいいです。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
---------------	----------

☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 4 人)
3)共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
寮はとても快適でした。明治大学から一緒に来た子と他の国から来た 2 人の 4 人部屋でした。最初に挨拶をしてルールなど確認した方がいいと思います。また明治から来た他の子の部屋にみんなで集まってパーティーをしたりご飯を食べたりしました。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
私は授業が少し難しいクラスに分けられ、ついていくのに必死だったため、一個下のクラスに変更すればよかったです。最初の週にクラス変更が可能で結構変更している人がいたので難しいと感じたら変更をお勧めします。しかしクラスメイトも先生もとても優しくさまざまな年齢・国の人と交流することができたので授業はとても楽しかったです！ドイツ語に途中から慣れていき日本では感じられないほどドイツ語力が一気に向上しました。
2)課外プログラムについて
私は有料、無料含めてさまざまなプログラムに参加しました。ウェルカムパーティー、ピクニック、ハイキングはとても楽しかったです。散歩、歌はドイツ語で説明されるのである程度ドイツ語がわからないと少し難しいと感じました。
3)現地での生活に関すること
本当に景色が綺麗で初めはずっと写真を撮っていました。現地の人たちもとても優しく笑顔で挨拶をしてくれます。レストランやカフェではチップを少し入れて(5-10%)支払いをしていました。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
ウィーン大学の学生ではなくウィーン大学の同じ言語コースに参加している人たちとの交流はいろいろなプログラムを通して行いました。日本人以外みんな英語がペラペラで外国人とは大抵英語で会話をするので英語のレベルがある程度あればいいと思います。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
ピクニックで友達になった外国人のその友達と Instagram で仲良くなりずっと英語で DM をしています。また明治の友達が作った外国人の友達と一緒にご飯や飲みに行くことで友達になりました。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
レストランやカフェなどのチップ文化。最初は慣れなくてどのくらい入れればいいのか分からなくて結構多めに出してしまうこともあったけど端数を繰り上げるぐらいで大丈夫です。 電車やバスなどの乗り方も全く異なり、毎回改札などでチケットを通す必要はありません。職員さんがチケットや定期を確認しに来た時見せれば大丈夫ですが、私は一度も職員さんに確認されたことはありません。しかし無賃乗車は犯罪なので必ず買しましょう。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私はウィーンに行きたくてドイツ語を第二外国語として選択したため、このプログラムは本当に最高でした。ドイツ語や英語の語学力が上がったのももちろん、本当に様々な貴重な体験をし、人生で 1 番濃く楽しい一ヶ月になりました。日本が恋しくなったのはご飯くらいで他は快適に過ごすことができ、もっといたいと思いました。英語とドイツ語を日本でも継続して勉強し四年生の後期か卒業後にワーホリにまた来たいと思います。日本だとリスニングやスピーキングはどうしても勉強がしづらく、リーディングやライティングばかりになってしまうため、このように現地で生のドイツ語や英語に触れることは語学力を伸ばす一番の要因になります。また自分より若い高校生なども参加しており他の参加者のやる気に感化され自分もやる気が上がります。ドイツ語が未経験でも参加できるプログラムとなっているので少しでも興味があれば参加をお勧めします。約 1 ヶ月本当に毎日楽しくてあっという間だったので 1 日 1 日を大切に、楽しんでください！

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	2024 年度夏季ウィーン大学語学研修
-----	---------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	75360 円	
図書費・学用品費	7052 円	クラスを変えたためほかの参加者よりも金額が高いです。
携帯・インターネット費	8000 円	
現地通学費	8611 円	(研修先まで 35 分)
教養娯楽費	111905 円	
被服費	0 円	
雑費	2705 円	有料トイレ、トイレトペーパー、コインランドリーなど
その他	0 円	例:
合計	205633 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 成田空港で 2 万円をユーロに変えていきました。現地でも追加でユーロに変える予定でしたが、2 万円分で十分でした。
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
基本的には何でもクレジットカードで支払いしました。カードは 2 枚持って行ったのですが、1 枚は暗証番号がわからなくなってしまい不便でした。レストランなどでまとめて払ってくれた友人に返す場合やカードが使えない店では、現金を使っていました。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Holafly という eSIM を日本で契約して行きました。こちらはデータ無制限で価格は安くはありませんでしたが、ギガを気にせずに最後まで使えたのでストレスフリーでした。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
パスポートは絶対になくさないようにするために、取り外しのできるポケットのようなものをかばんの内側につけて、その中にパスポートを入れていました。また、リュックサックよりも横掛けのバッグのほうがとっさに体の方に引き寄せることができ、便利だと思いました。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
危険な場所は出発前にざっくりと把握しておきましたが、思っていたよりも治安は悪くありませんでした。とはいえ、かばんは常に体の前にかけて、スマホに短いチェーンをつけて手に掛けたりといった対策はしていました。駅のホームで話しかけられたことがありましたが、周りをよく確認してその場から離れればそれ以上何かしてくることはなかったので、相手にしないことが大事です。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
不便に感じたことはありませんでした。寮や大学の Wi-Fi はいつも快適に使えました。電話番号の契約はしませんでした。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
総合して非常に生活しやすかったです。明治の学生 1 人と他国からの学生 2 人の計4人で使っていました。寮全体にエアコンがなく熱がこもることがありましたが、他国からの学生曰く寮のセキュリティはしっかりしているとのことだったので、窓を少し開けて寝ていました。料理に関しては、ラップ、キッチンペーパー、菜箸、袋を留めるクリップを持っていくと便利です。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
授業は平日の午前に行われ、休憩が 30 分ほどありました。私はもともと A2/1 のクラスでしたが、ついていけず A1/2のクラスに移ったものの、そこでも難しく感じたため最終的に A1/1 のクラスになりました。数字や文の構造、冠詞の変化など基本的な内容が中心でしたが、日本語以外で習う初めての機会だったので、新鮮で大変有意義な時間でした。
2) 課外プログラムについて
ドイツ語の歌を歌うプログラムに参加しましたが、英語はほとんど使われずドイツ語で授業が進められたのでとても難しく感じました。
3) 現地での生活に関すること
ヨーロッパはどこに行っても蜂が多い印象でした。一度駅で髪の毛を触ったときに、蜂のようなものに刺されました。洗ったり冷やしたり、日本から持って行ったウナコーワを塗ったりして、自分でできる治療を行いました。町中に薬局はたくさんありましたが、普段使っているものを持っていくと精神的にも安心だと思います。

交流等について

1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
ウィーン大学系列の語学学校だったため、現地学生との交流はできませんでした。通っていたキャンパスにいたのは、他国からドイツ語を勉強しに来ている学生がほとんどでした。
2) プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
最初の頃はチップの制度に苦戦しました。カードで支払うことが多かったのですが、言われた価格に少し上乗せした価格を店員に伝えると、にこっと笑って Thank you と言ってくれました。 これは人によると思いますが、硬水で髪を洗うのが大変でした。日本から持って行ったシャンプーの泡立ちも悪く、髪がギシギシになりました。ただ、水道の水は思っていたよりもおいしく飲みました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

出発前は何もかも怖くて不安でしたが、研修が始まると本当にあっという間に時間が過ぎていきました。

ウィーンの街並みは 360 度美しく、歩くのが苦ではないと思うほどでした。寮から出て繁華街のほうに行くと、何度も見たことのある景色でもいつも写真を撮っていました。

毎日の授業がとても楽しく、1 日 3 時間弱では足りないと思うほど充実していました。休み時間にはクラスメイトとキャンパス内のスーパーに行き、パンを食べながらお互いの国の言葉を教え合う時間が本当に楽しかったです。他国からの学生と話ときは英語を使っていたので、ドイツ語も英語も上達したように感じました。

週末は明治大学の友人たちと遠出し、プラハ、プラチスラバ、ブダペスト、国内だとザルツブルクとハルシュタットに行きました。前の日に計画したため電車のチケット代などは高くついてしまいましたが、日帰りで楽しめるところが多くて非常によかったです。同じ東欧でも少しずつ雰囲気が違うのも面白いポイントでした。

終盤は、ルームメイトやクラスメイトに日本からのプレゼントを渡しました。折り紙やインスタントの味噌汁、和菓子のアソートを渡しましたが、特に折り紙は非常に好評でした。いつでもどこでも YouTube でやり方を調べて実際にやってみることができるのがよいと思いました。クラスの台湾からの学生は鶴を作れると言っていたので、お互いに作ったものを交換して、それが良い思い出となりました。

私はもともと日本の文化が大好きで、日本から出たくないと思っていました。しかし、外に出てみると知らないものや魅力的なものが多くて感動しました。また、日本を外から見つめることもでき、視野が広がったように感じます。まさに世界は広いんだと心の底から思いました。もちろん日本のことが嫌いになったわけではなく、日本も海外も大好きになりました。こんなに素晴らしい経験ができたことが本当に嬉しく、これを必ず次につなげたいと思っています。このプログラムを見つけて参加することができて本当に良かったです。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	ウィーン大学
-----	--------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	52000 円	外食・自炊含む
図書費・学用品費	3700 円	ドイツ語教科書(現地で購入)
携帯・インターネット費	3000 円	e-sim18 ギガ
現地通学費	8000 円	(研修先まで 30 分)
教養娯楽費	15000 円	遊園地・ミュージアム・国立図書館などの観光費
被服費		
雑費	16000 円	お土産など
その他	100000 円	例:ドイツ・オランダ・ベルギーへの旅行費
合計	197700 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本の空港で10万円分用意
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
カード対応でないところも結構あったので現金は多めに持って行って良かったです。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
MobiMatter というアプリでヨーロッパ全域で使える E-Sim を購入しました。3000円ほどで18ギガでした。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
調味料を何一つもっていかなかったのですが、自炊結構するので持っていけばよかったです。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
かばんにカギをかけるなどの対策をしました。荷物を置きっぱなしにすることがないようにもしました。
なにも盗まれませんでした。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
寮にも大学にも Wi-Fi があり、特に問題なく接続できました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
部屋にエアコンがないので暑すぎて夜中に起きてしまうこともありましたが、小さい扇風機があると便利だったと思います。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1) 研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
先生はすごく優しいし、クラスメイトもいろんなところから来ていて、すごく楽しかったです。授業自体は毎日3時間だけなので、ドイツ語の勉強がしっかりできるか不安でしたが、宿題もたくさん出るテストもあるので、観光を楽しみつつドイツ語力を伸ばすこともできてすごく良かったです。
2) 課外プログラムについて
ウェルカムパーティーでは新たな友達を作ったり、いろんな人と会話できました。私はドイツ語では会話できないので基本英会話でした。A1-1 から参加できる歌のクラスに参加してみましたが、参加者のレベルはかなり高く(B1・2など)何を言っているかわからずついていけませんでした。
3) 現地での生活に関すること
駅前が少し治安が悪かったので、なるべく夜遅くに出歩かないようにしましたが、他に困ったことは特になかったです。

交流等について
1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
ドイツ語の授業は15人程度のクラスなのでクラスメイトと仲良くなりやすかったです。私は香港人やペルー人と仲良くなって授業外でもご飯を食べに行ったり、一緒に観光に行ったりしました。
2) プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
明治で交換留学していた友達がドイツに住んでいたの、会いに行きました。そこでその子の友達の誕生日パーティーに参加させてもらって、多くのドイツ人と交流できました。

異文化体験について
1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
ドイツもウィーンもりのいいひとが多いイメージで、私はその雰囲気が好きでした。屋外でのイベントではみんなで歌ったり踊ったり、最終日は電車で歌っている人も見ました。楽しい面白い国だと感じました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私はドイツ語を初めて半年ほどで留学したので、最初はちゃんといけるのか不安でしたが、先生は手厚くサポートしてくれるし、クラスメイトも助けてくれるので授業を楽しく受けられました。ドイツ語だけではなく、英語力も上がったと感じています。レベルの高いクラスにいる学生はドイツ語で会話していましたが、基本的にみんな英語ペラペラなので、私は友達とは英語で会話していました。授業でも先生は基本ドイツ語で話していますが、補足など英語で話す部分もあるので英語・ドイツ語どちらの練習にもなる貴重な経験でした。 週末は他の国に旅行に行くこともできて、これまでで一番充実した1か月を送ることができました。行くことを迷っている人はぜひこのプログラムへの参加をお勧めします。私はあまりにも楽しかったので来年ドイツに交換留学したいと考えるようになりました。
--